



ZZ20040

JA

保証書付

POWERED SUBWOOFER

DXS18
DXS15 mkII
DXS12 mkII

取扱説明書

- この取扱説明書では、主にDXS18を使って説明しています。
- この取扱説明書に掲載されているイラストは、すべて操作説明のためのものです。
- 本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

はじめに

このたびは、パワードサブウーファー DXS18、DXS15mkII、DXS12mkII(以下DXS)をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。本製品は、ライブSRや仮設音響設備で使用するパワードサブウーファーです。この取扱説明書では、ライブハウスや仮設PAなどでより豊かな低音域を再生するためにサブウーファーを使用するときの設置や使用方法を説明しています。本製品のさまざまな機能を十分に活用いただくために、ご使用の前にごの取扱説明書を必ずお読みください。また、お読みになったあとも、大切に保管してください。

付属品

- 電源コード
- 3芯→2芯変換プラグ
- 取扱説明書(本書)
- Technical Specifications(スペックシート、英文)

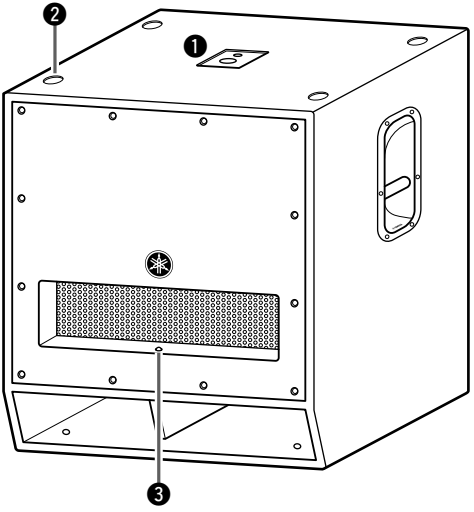
特長

- ハイパワー、高音圧、優れた低域再生能力**
高音圧に有利なバンドパス方式を採用。高耐入力、低歪みのウーファー、1,020 Wのパワーアンプを搭載し、優れた低域再生能力と高音圧を達成。
- 最適な音づくりのための優れた機能**
 - ・**D-XSUB**：再生周波数帯域をDSPでコントロール。さまざまな用途や音楽ジャンルに適した設定が選択可能。
 - ・**選択可能なX-OVER**：カットオフ周波数やLPF/HPFの連動/非連動が選択可能で、さまざまなアプリケーションに柔軟に対応可能。
 - ・**カーディオイドモード**：低域の指向性をコントロールし、スピーカー後方への音圧を減少させ、前方への音圧を増幅させることが可能(DXSが2台以上必要)。
- 高音圧性**
高性能DSP制御でスピーカーとアンプを保護。厳しい環境下でも安心して使用可能。
- 高耐久性**
キャビネットの素材には堅牢な合板を、塗装には高い対傷性を誇るポリウレタ樹脂を採用。
- 使い勝手の良さ**
φ35 mmとM20の両方に対応するデュアルボールソケットを装備。可搬性を高めるキャスター(オプション)を装着可能。

オプション品

- ・スピーカーカバー SPCVR-18S01(DXS18用)、SPCVR-DXS152(DXS15mkII用)、SPCVR-DXS122(DXS12mkII用)
- ・キャスター SPW-1(4個入り)

各部の名称と機能



- ①ボールソケット**
市販品の35 mm径またはM20ネジのスピーカーボールに対応しています。取り付け方法は「スピーカーボールの取り付け」をご参照ください。

- ②ゴム脚受け**
DXSを縦積みする場合は、上に積んだDXSのゴム脚を、このゴム脚受けに合わせてください。

- 注意**
DXSを3台以上縦積みしないでください。

- ③フロントLED**
電源がオンのときに点灯します。出力リミッターが作動すると、より明るくなります。FRONT LED DISABLEスイッチ(⑮)で常に消灯にすることもできます。

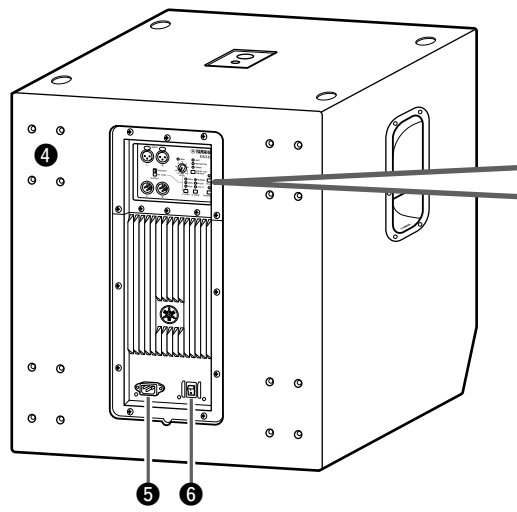
- ④キャスター取り付け穴**
オプションのキャスター SPW-1を取り付けることができます。取り付け方法や注意事項については、キャスターの取扱説明書をご参照ください。

- ⑤AC IN端子(V-Lock)**
付属の電源コードを接続します。電源コードはラッチによるロック機構を備えています。最初にDXSと電源コードを接続し、次に電源プラグをコンセントに差し込みます。取り外すときにはラッチを押しながら外してください。

- 注意**
電源コードを接続したり、取り外す前に必ず電源をオフにしてください。

- ⑥電源スイッチ**
この機器の電源をオン(●)/オフ(○)します。複数の機器を使う場合は、1台ずつ電源をオンにしてください。同時に複数の電源をオンにすると電源電圧低下などで機器が正常に起動しないことがあります。電源のオン/オフを連続して素早く切り替えると、誤動作の原因になることがあります。電源をオフにしてから再度オンにする場合は、5秒以上の間隔を空けてください。

- 注意**
電源スイッチがオフの状態でも微電流が流れています。長時間使用しないときは必ず電源コードを電源コンセントから抜いてください。



- ⑦INPUT端子**
XLRタイプのバランス型入力端子(ラインレベル)です。本体スピーカーからは、LとRからの入力信号をミックスして出力します。

- ⑧OUTPUT端子**
XLRタイプのバランス型出力端子です。フルレンジスピーカーや追加のDXSを接続します。THROUGH/HPF POSTスイッチ(⑨)で出力する信号を切り替えます。OUTPUT端子のL/R出力は、INPUT端子のL/R入力それぞれに対応しています。L/Rのミックスは出力しません。

- ⑨THROUGH/HPF POSTスイッチ**
OUTPUT端子(⑧)から出力する信号を切り替えます。

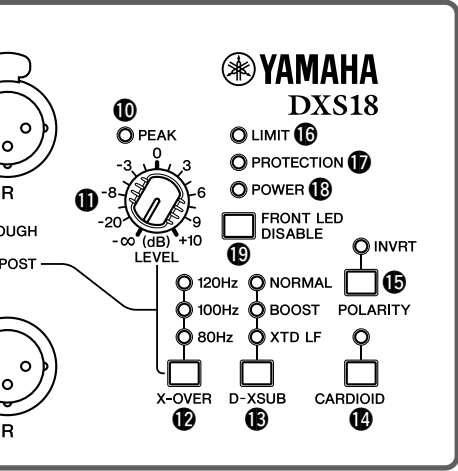
- 注意**
切り替える際は入力レベルを下げてください。

- ・**THROUGH**：INPUT端子(⑦)から入った信号をそのまま出力します。接続したフルレンジスピーカーのHPFを使用する場合やDXSを追加して接続する場合に使用します。
- ・**HPF POST**：INPUT端子(⑦)から入った信号をHPF(ハイパスフィルター)を通してから出力します。HPFのカットオフ周波数は、X-OVERスイッチ(⑫)で選択した周波数になります。OUTPUT端子から出力するレベルはLEVELコントロール(⑩)と連動するため、本機とフルレンジスピーカーのレベルが同時に変化します。

- ⑩PEAKインジケーター**
入力レベルがクリップする3 dB手前で赤く点灯します。頻繁に点灯する場合は、入力信号の最大時に一瞬点灯する程度まで入力元の音量を調節するかLEVELコントロール(⑩)を下げてください。

- ⑪LEVELコントロール**
出力レベルを調節します。

- ⑫X-OVER(クロスオーバー)スイッチ**
クロスオーバー周波数を120 Hz/100 Hz/80 Hzから選択します。本機の出力には、選択した周波数以上の音域をカットするLPF(ローパスフィルター)がかかります。THROUGH/HPF POSTスイッチ(⑨)をHPF POSTにした場合、OUTPUT端子からの出力信号に選択した周波数以下の音域をカットするHPF(ハイパスフィルター)がかかり、接続したフルレンジスピーカーとのクロスオーバーが連動します。



- ⑬D-XSUB(ディーエックスサブ)スイッチ**
低域の特性を切り替えます。
- ・**NORMAL**：汎用の設定で、さまざまな用途に対応します。
 - ・**BOOST**：パンチ感を強調する周波数帯域をブーストした設定です。
 - ・**XTD LF(eXTenDed LF、エクステンディッドLF)**：より低い低域まで再生周波数を伸ばした設定です。

- ⑭CARDIOID(カーディオイド)スイッチ**
DXSを複数台使うと、カーディオイドモードで使用できます。カーディオイドモードとスイッチの使用方法については、裏面の「カーディオイドモードのセットアップ」をご参照ください。

- ⑮POLARITYスイッチ**
本機の極性を正相か反相が切り替えます。反転時はINVRTインジケーターが点灯します。通常は正相で使用しますが、組み合わせるスピーカーや設置場所によっては、反転で使用する方が低音域の再生が良好になることがあります。より良好に低音域を再生する方を選んでください。

- ⑯LIMITインジケーター**
出力リミッターが作動すると点灯します。出力リミッターは、スピーカー部とアンプ部を保護するために作動し、出力信号を減衰します。頻繁に点灯する場合は、入力信号の最大時に時折点灯する程度まで入力元の音量を調節するかLEVELコントロール(⑩)を下げてください。

- ⑰PROTECTIONインジケーター**
保護回路が作動しているときに点灯します。以下の場合に保護回路が作動し、スピーカー出力をミュートします。
- ・アンプ部の過熱を検出した場合
 - ・過電流を検出した場合
 - ・電源をオンにした直後(ノイズ防止のため保護回路が作動し、約2秒間点灯します。正常に起動するとインジケーターが消灯します。)

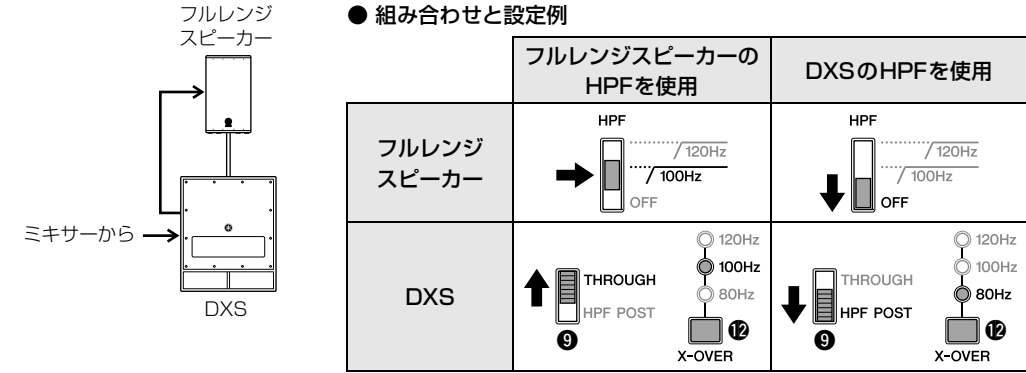
- ⑱POWERインジケーター**
電源がオンのときに点灯します。

- ⑲FRONT LED DISABLEスイッチ**
本機正面にあるフロントLEDの点灯、消灯を切り替えます。スイッチがオフのときLEDが点灯します。LEDを消灯したい場合は、スイッチをオンにしてください。

基本的なセットアップ

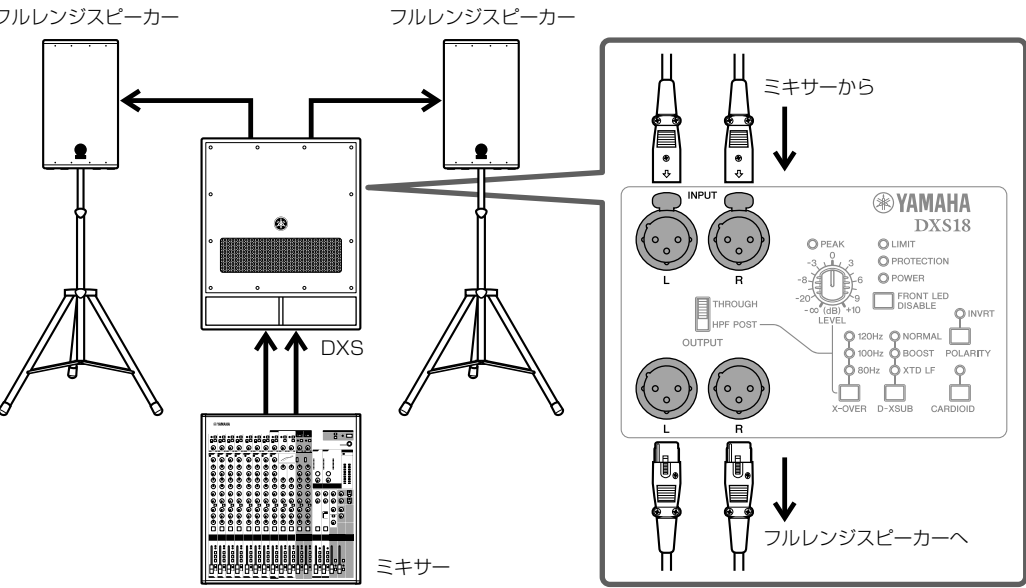
ミキサーなどの音源からの出力信号をDXSのINPUT端子に入力し、DXSのOUTPUT端子からの出力信号をフルレンジスピーカーの入力端子に入力します。

- ・**X-OVERスイッチ(⑫)**
DXSのクロスオーバー周波数(LPFのカットオフ周波数)とフルレンジスピーカーのHPFのカットオフ周波数を一致させることをおすすめします。DXSとフルレンジスピーカーから同じ帯域の音出力されると、相互に干渉を起こして周波数特性が悪くなることがあります。
- ・**THROUGH/HPF POSTスイッチ(⑨)**
フルレンジスピーカーに適切なHPFがある場合は[THROUGH]に設定することをおすすめします。独立してレベルをコントロールでき、信号の遅延も最小限に抑えられます。フルレンジスピーカーにHPFがない場合やカットオフ周波数を揃えられない場合は、[HPF POST]にしてDXSのHPFを使用してください。



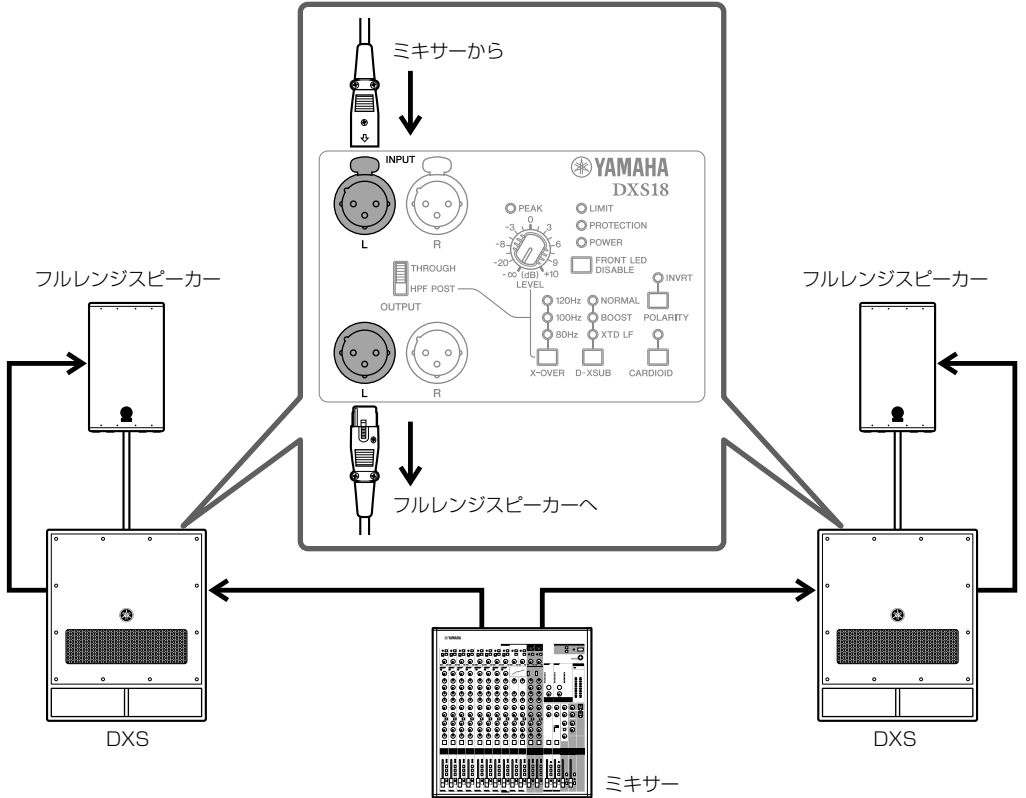
- 注意**
パワードスピーカーを数珠つなぎに複数台接続している場合は、音源に近い機器から電源を入れ、音源に近い機器から電源を切ってください。

DXSをモノラル、フルレンジスピーカーをステレオにする組み合わせ



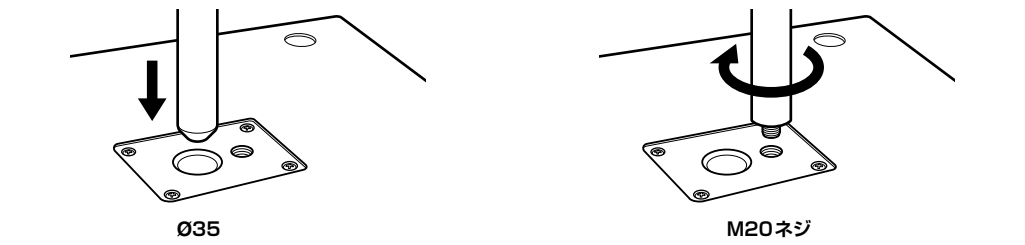
DXSとフルレンジスピーカーをどちらもステレオにする組み合わせ

- NOTE**
DXSのL/Rの端子は、どちらを使用してもDXSの動作に違いはありません。



スピーカーボールの取り付け

上にフルレンジスピーカーを乗せるためのボールソケットです。ボールソケットは35 mm径またはM20ネジの市販のスピーカーボールに対応しています。使用時は、必ず以下の条件を守るようにしてください。

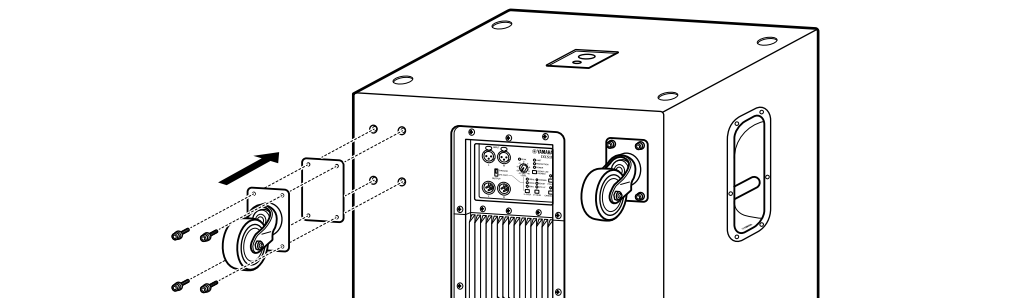


品番	上に乗せるスピーカー	ボールの長さ
DXS18	重量28.0 kg以下、高さ76 cm以下(DSR115)	120 cm以下
DXS15mkII	重量19.3 kg以下、高さ61 cm以下(DXR12)	100 cm以下
DXS12mkII	重量14.6 kg以下、高さ51 cm以下(DXR10)	82 cm以下
	重量13.5 kg以下、高さ46 cm以下(DXR8)	90 cm以下

キャスターの取り付け

DXSの背面にオプションのキャスター SPW-1を取り付けることで運搬が容易になります。キャスターの取り付けには、DXS本体に取り付けてあるネジを取り外して使用してください。ネジを外したまま使用しないでください。エア漏れにより音質に悪影響を及ぼします。

- 注意**
- ・キャスターの取り付け方法や注意事項については、キャスターの取扱説明書をご参照ください。
 - ・SPW-1以外のキャスターを取り付けしないでください。



困ったときは

症状	考えられる原因	対策方法
電源が入らない。	電源コードが正しく接続されていない。	電源コードを正しく接続してください。
突然電源が切れた。	保護回路が作動して、電源がシャットダウンした。	いったん電源をオフにし、アンプの熱が下がるのを待ってから、もう一度電源をオンにしてください。
音が出ない。	ケーブルが正しく接続されていない。	INPUT端子に正しく接続してください。
突然音が途切れた。	保護回路が作動して、出力がミュートしている。	アンプの熱が下がるまでお待ちください。自動復帰しない場合は、いったん電源をオフにし、もう一度電源をオンにしてください。
ハウリングする。	マイクがスピーカーに向いている。	マイクが音を拾う範囲からスピーカーを離してください。
各スピーカーの音が違う。(複数台使用時)	スピーカーの設定が異なる。	各スピーカーのスイッチの設定をすべて同じにしてください。
音が歪む。	入力が過大である。	PEAKインジケーターが時々点灯するレベル以下になるまで入力機器側のボリュームを下げてください。
	出力が過大である。	LIMITインジケーターが時々点灯するレベル以下になるまでLEVELコントロールで出力レベルを下げてください。

* 上記の対策を実施しても症状が改善しない場合は、ヤマハ修理ご相談センター(裏面)にお問い合わせください。

主な仕様

仕様		DXS18	DXS15mkII	DXS12mkII
形式		バンドパス型パワードサブウーファー		
再生周波数帯域(-10 dB)		32 Hz～120 Hz	40 Hz～150 Hz	42 Hz～150 Hz
最大出力音圧(実測値ピーク)		136 dB SPL	135 dB SPL	134 dB SPL
ピンクノイズ@1 m、2 π 空間				
パワーアンプ	定格出力	1,020 W		
	連続	800 W		
	消費電力(1/8出力)	100 W		
コンポーネント	LF	18"コーン、 4"ボイスコイル	15"コーン、 2.5"ボイスコイル	12"コーン、 2.5"ボイスコイル
寸法 mm(幅×高さ×奥行き、ゴム足含む)		563×683×721	480×611×614	400×567×570
質量		49.7 kg	36.0 kg	30.0 kg
ハンドル		スチール製、側面×2		
ボールソケット		Φ35 mm(深さ80 mm)、M20(ネジ深さ25 mm)		
コネクター	入力	XLR3-31×2		
	出力	XLR3-32×2(THROUGH または HPF POST)		
	電源	IEC AC inlet×1(V-Lock)		
入力感度(LEVEL: センター)		+10 dBu		
最大入力レベル		+24 dBu		

* 本書は、発行時点での最新仕様で説明しています。最新版は、ヤマハウェブサイトからダウンロードできます。

